会誌テンプレート（区分「工事･プロジェクト記録」用）

英文表題：・・・・・（目次用の英文表題を明記してください。※掲載用原稿には記載されません。）

山田　太郎＊1・鈴木　花子＊2

概　要：（300字以内）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

キーワード：（7語以下）○○○○，○○○○，○○○○，○○○○

|  |
| --- |
| ＊1　やまだ・たろう／○○○○㈱ ○○部長（正会員）＊2　すずき・はなこ／○○○大学○○学科 助教 |

1.　はじめに

本誌原稿は最終的に印刷所で組み上げ作業を行うため，ご提出時の原稿レイアウトと掲載用（初校原稿）のレイアウトが異なる場合がありますのでご承知おきください。（区分「工事･プロジェクト記録」：実際のコンクリート構造物の計画・設計・施工・維持管理・解体・再生への新材料・新技術・新手法の適用の記録で，従来のものとの相違点やここで採用した材料・技術・手法の問題点や適用の限界等についても記述したもの。6ページ以内。）

本テンプレートはページ数の目安として必要に応じてご利用ください。なお，レイアウトせずに本文と図表写真を別々にまとめて頂いても結構です。

参考までに，掲載用レイアウトの体裁等（一部執筆要領含む）について以降に記します。

2.　掲載用レイアウト

2.1　ページ設定等

原稿はA4サイズで25字×49行×2段組，余白は上20mm，下20mm，左18mm，右18mmで作成してください。本文の級数は9ポイントとし，フォントはMS明朝体またはこれに類似したものを用いてください。使用する句読点は「，」「。」とし，いずれも全角で使用してください。

2.2　本文の書き方

（1）概要・キーワード

「工事･プロジェクト記録」には，300字以内の概要と7語以下のキーワードを付けてください。

（2）見出し番号

章・節・項の順に「1．」「1.1」「（1）」のように付してください。

（3）箇条書き

列記するときは，1），2），3）とし，文章内に続けて書くときは，①，②，③としてください。

（4）字下げ・折返し

書き始めは，見出し・本文とも‘1字下げ’としてください。2行目以降の折返しは，見出しおよび箇条書き文の場合は‘2字下げ’とし，本文の場合は‘字下げせず’としてください。

（5）記号・数式

大文字と小文字，小文字と下ツキ（添字），英文字とギリシャ文字など，形が同じであるか，明瞭に判別できるよう最大の注意を払ってください。

（6）脚注

特に専門的な事項や用語については，本文中の該当箇所の右肩に※1，※2，※3…と付し，末尾にその説明を記してください。

（7）参考文献

引用や参考とした文献は使用順に番号を振り，本文中の該当箇所（図・表・写真の引用の場合はそのタイトル）の右肩に1），2），3）…と付し，末尾にその文献情報を記してください。

文献情報の記載方法は，論文等の場合は［著者名：論文名，誌名，Vol.，No.，掲載ページ，発行年月］の順とし，単行本の場合は［著(編)者名：書名，発行所名(編者と同一の場合は省略)，発行年月］の順としてください。

2.3　図・表・写真について

「図-1　○○○」，「表-1　○○○」，「写真-1　○○○」のように通し番号とタイトルを付し，本文中の説明箇所でその番号を必ず引用してください。

図表中における文字のみ書式統一のため印刷所で打ち替え等行いますが，図形自体のトレースは行いませんので，印刷した際に鮮明で判読可能なものを使用してください。また，極端に小さい図表は避けてください。

なお，掲載用レイアウトでは，本文中の説明箇所の近くに各図表写真を配置しますので，提出用原稿では本文と図表写真を別々にまとめて頂いても結構です。

参考文献

1) 春野秋雄・横田英治：無塩化・無アルカリ型防凍結性混和剤による初期凍害の防止効果，コンクリート工学論文集，Vol.7，No.1，pp.113～122，1996.1

2) 日本コンクリート工学会：コンクリートのひび割れ調査，補修・補強指針，2013.4

3）Davis J. M. ： Simplified Diaphragm Analysis, Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.103, No.1, pp.2093-2103, 1977.1